

スミちゃんの韓国イヤギ^⑮～

兵役は兵に「益」になる

先日、日本でも放送されましたが、最近韓国国内で一番の話題になっているのは兵隊非理問題です。そのせいか、この間、韓国に帰った時、あちこちで兵隊の話が話題となっていて、家に帰ってから、母がテレビに出ている男性俳優を見ながら何気なく「あの子は兵隊に行ってきたのかな」とぼそっと言った言葉に、さすがに私も最近の韓国国内での兵役問題に対する大きな関心を感じました。

大韓民国の憲法には国民の4つの義務が明示されており、その一つが国防の義務です。それで、韓国の健康な男性なら、誰でもその義務を果たすようになっているのです。もちろん場合によっては、実際、入隊する形ではない違う形での服務(代替服務)もあり、また免除されるケースもあります。最近、韓国国内で問題になっているスポーツ選手や芸能人の兵役免除事件は、この特例の部分を目当てにしたものです。私が思うには、このことは単なるスポーツ選手や芸能人だけの話ではなく、いわゆる「お金を持っている人」を中心として行われているケースも公にされてないだけであって、もっと知られていないたくさんの方が潜んでいると思います。兵隊での生活や訓練は誰でも辛いし、誰もが入隊を快く受けられるものではありません。どうしてもないことや時間は、それを自ら楽しむしかないと考えた単純なタイプの私は、悪い手を使ってまで兵役服務を逃れようとする人には怒りを感じます。

さて、韓国では「男三人寄れば、必ず軍隊の話がでてくる」という話があります。それほど大人の男ならほとんどが持っている兵隊での記憶は、男の人の間では共感帯を形成し、それが皆の欠かせない話題になっているのです。もちろん、たまたまそれを聞かされる

女の人にはある程度の忍耐力も必要です。聞いてもよく分からないし、とにかく話についていけないからです。でも、かわいそうな韓国の男性のために韓国の女性が聞いてあげないと(笑)。「服務中は本当に辛かった」という友達の率直な話を耳にしながら(彼は除隊の後でも、しばらくの間、軍服の柄さえも見たくなかったそうです)私は、分断されている韓国の厳しい現実を肌でしみじみと感じ、早く統一にならないのかなと思ったことがあります。

韓国の男性にとって兵隊服務は、すごく辛い時間ですが、時間が過ぎるに連れ、自分の若い頃の忘れられない一つの思い出になっていき、そのことを話す口調はおだやかに変わり、聞いている人を笑わせたりほっとさせたりすることが多いのです。それに、私は自分の周りの同級生や知り合いを見ても、入隊する前と除隊してからのその人の感じはまったく変わっていて、急激に大人びてきたような気がするのです。見慣れない環境での3年近く(最近はおよそ2年程度)の生活や時間は、きっといろんなことを考えさせ、単なる体だけではなく、心も成熟させてくれたのでしょう。みなさんは韓国男性の兵役義務についてどう思われますか？

私がちょうど日本に来る時、私は初めての一人暮らしを心配していた親に向かって、「娘一人、兵隊に行かせたつもりにしてご心配なく」と言って飛行機に乗ったことを覚えています。この国際交流員としての任期が終わったら、兵隊から帰ってきた男性のように精神的に成熟した自分になっているように一人でこっそり祈っているところです。

(淀江町国際交流員 李秀美)

市町村合併・住所表示の変更に伴う旅券申請手続きの取扱について

市町村合併により市町村名・字名などの住居表記が変更されます。これに伴い、市町村合併による住所表記の変更に限り、旅券(パスポート)の申請書に添付する戸籍謄(抄)本等の取扱いが次のとおりになります。

◎戸籍謄(抄)本の提出について

本籍地の表示が変更前のものでも、発行後6か月以内のものであればそのまま受理されます。なお、市町村から住所変更の通知書等が送られている場合は、申請の際にお持ちください。申請書の本籍地欄の記入は、変更後の住所地を記載してください。

◎本人確認書類(運転免許証、健康保険証等)について

運転免許証や健康保険証などの本人確認書類については、住所表記の変更前のものでも、提出された本書類によって確認されます。